

# 組立説明書

## Dea's Alpha Wood ディース アルファ ウッド 横張りフェンス

このたびはDea's Garden製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しく組立てをして頂くために、組立説明書をよくお読みください。

〈施工される前に〉

- ◆製品の組立てには危険を伴いますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ◆施工寸法に合わせて、その強度基準に見合った基礎寸法、支柱部材を選定してください。
- ◆フェンス板材は外気温度によって伸縮します。この組立説明書に従い、寸法変化に追従する固定方法にて施工してください。

〈施工上のご注意〉

- ◆施工に際しては、作業服および保護具（保護帽、手袋、保護眼鏡、安全帯など）をご使用ください。
- ◆施工に際しては周囲の安全に十分に配慮してください。
- ◆組立てが不十分だと、強風などで外れる恐れがあります。この組立説明書に従い確実に固定してください。
- ◆強風時は危険ですので施工しないでください。
- ◆施工中についた汚れはすぐに取り除いてください。またキズなどについては補修塗料（別売品）で補修を行ってください。

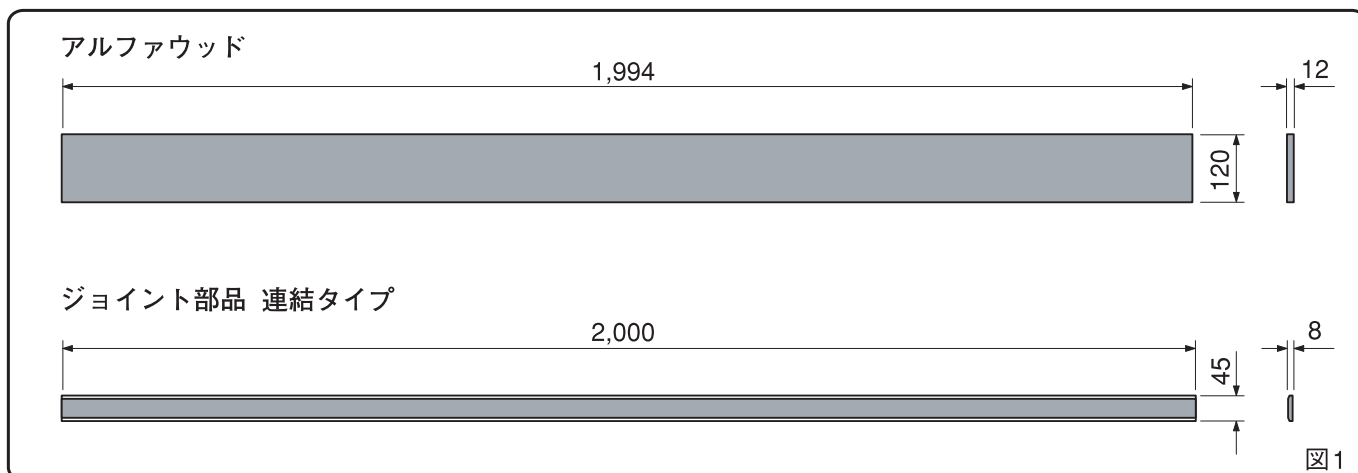
### 梱包明細表

品名	数量
アルファウッド	10枚／梱包 (基本梱包)

品名	数量
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書	1

オプション部品			品名	数量
			スペーサーセット	30個／梱包
品名			品名	数量
ジョイント部品 連結タイプ	1本／梱包		ねじセット A	30本／梱包
品名			品名	数量
ジョイント部品 単独タイプ(セット)	SUS部品	1	補修塗料スプレー	300ml / 缶
	樹脂カバー	1		
	ドリルねじ $\Phi 5 \times 25$	2		

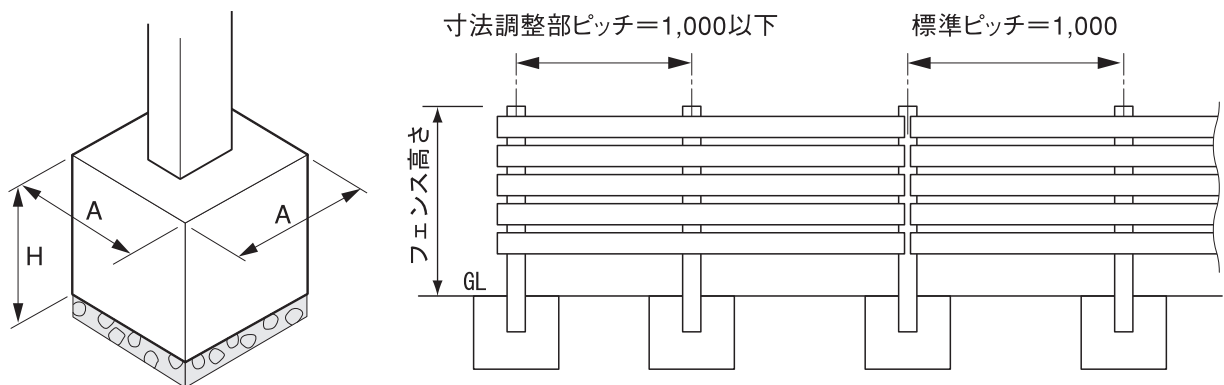
### 製品寸法 (単位：mm)



# 1 設計に際して

## 1 基礎寸法に関して (図2参照)

- 下図寸法以上の基礎を設けてください。
- コンクリートやモルタルに塩分を含む砂のご使用は避けてください。また混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものご使用ください。
- 製品の裏面に付着したコンクリート、モルタルは速やかに取り除いてください。
- 養生時間を十分に確保してください。
- 支柱ピッチは精度を出してください。
- 支柱ピッチは最大1,000mmを守ってください。  
※アルファ ウッドは、支柱ピッチ1,000mmの時にそのまま使用できる寸法にカットされています。



基礎寸法参考資料

フェンス高さ(mm)	800	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800
A寸法 (mm)	200	300	300	350	400	400
H寸法 (mm)	300	300	350	350	400	450
フェンス高さ(mm)	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	
A寸法 (mm)	450	500	550	550	600	
H寸法 (mm)	450	450	450	500	500	

図2

## 2 支柱に関して (表1参照)

- 市販の汎用アルミ型材とキャップをご使用ください。
- 下表を参考に、十分な強度が確保できる部材を選定してください。
- 支柱ピッチは1,000mm以内としてください。
- 支柱施工時には、GLより30mm上がったところにφ6の水抜き穴を設けてください。

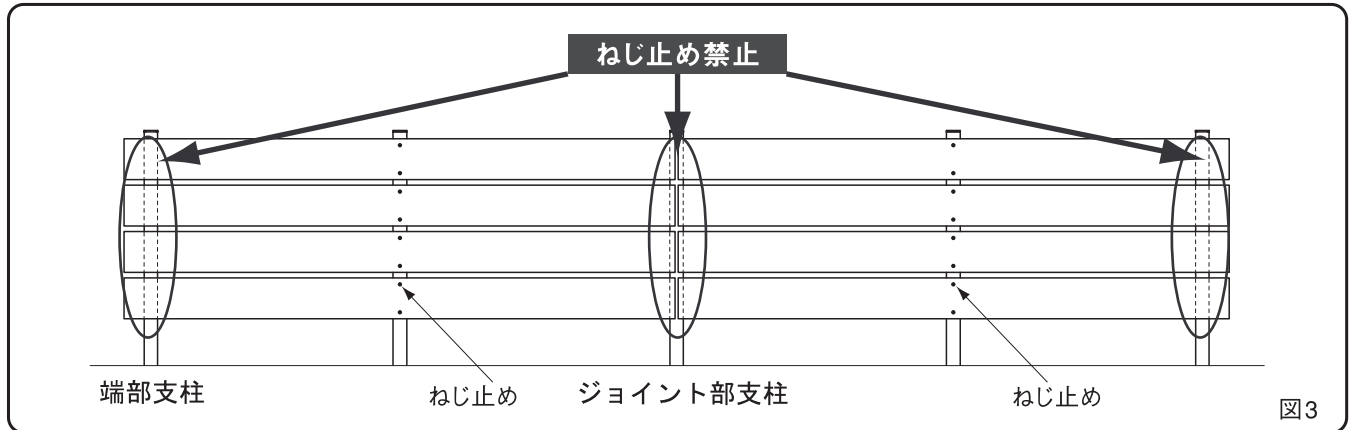
アルミ型材支柱の断面寸法資料

アルミ型材断面 (mm)	肉厚 (mm)	GLからのH寸法 (mm)
45×45	2	1,200
50×50	2	1,500
60×60	2	1,800
70×70	2	2,150
75×75	2	2,300
90×90	3	2,800
100×50	3	2,800

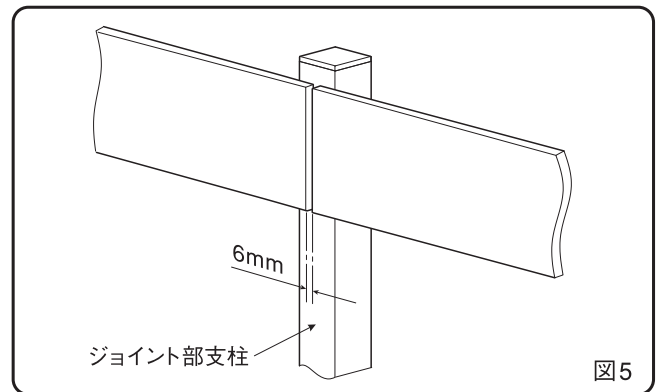
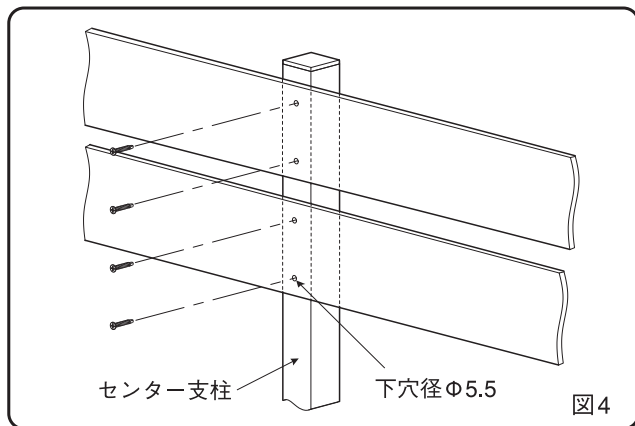
表1

## 2 施工上の注意点

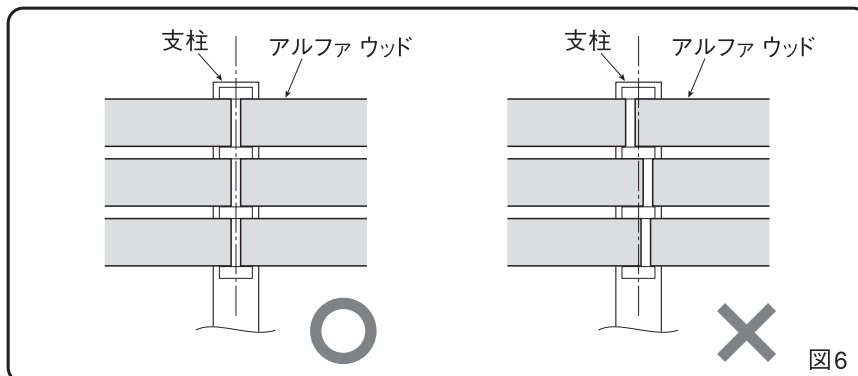
- ① アルファ ウッドは、気温によって伸縮をします。必ず下記の取付け方法を守ってください。(図3参照) ジョイント部及び端部のねじ固定は避けてください。気温によって【曲がり】や【ワレ】の発生する原因となります。



- ② アルファ ウッドの切断には、電動丸のこをご使用ください。その際、端部の欠けが発生しないように丁寧に切断作業を行ってください。
- ③ アルファ ウッドのねじ止めに際しては、必ずφ5.5の下穴を設けてください。(図4参照)
- ④ アルファ ウッドは外気温度によって伸び縮みをします。アルファ ウッドのジョイント部には必ず6mmの隙間を設けてください。(図5参照)



- ⑤ アルファ ウッドのジョイント部は、必ず支柱のセンターに来るように取付けてください。片側にずれた状態では、強風時にアルファ ウッドが外れる恐れがあります。(図6参照)



- ⑥ 支柱ピッチは1,000mm以下を守ってください。1,000mmを越えるとアルファ ウッドの外れや、脱落などにより事故につながる恐れがあります。
- ⑦ 支柱寸法、基礎寸法は十分な強度を持たせてください。不足すると、強風時に倒れ事故を起こす恐れがあります。

### 3 ジョイント部品別 施工方法について

アルファ ウッドには2種類のジョイント部品を準備しております。ジョイント部品の種類によって取付け方法が異なりますので、事前に下図をご確認の上、該当するページの施工方法に従って取付けを行ってください。

①ジョイント部品【連結タイプ】を使用する場合 → [p5 をご覧ください](#)

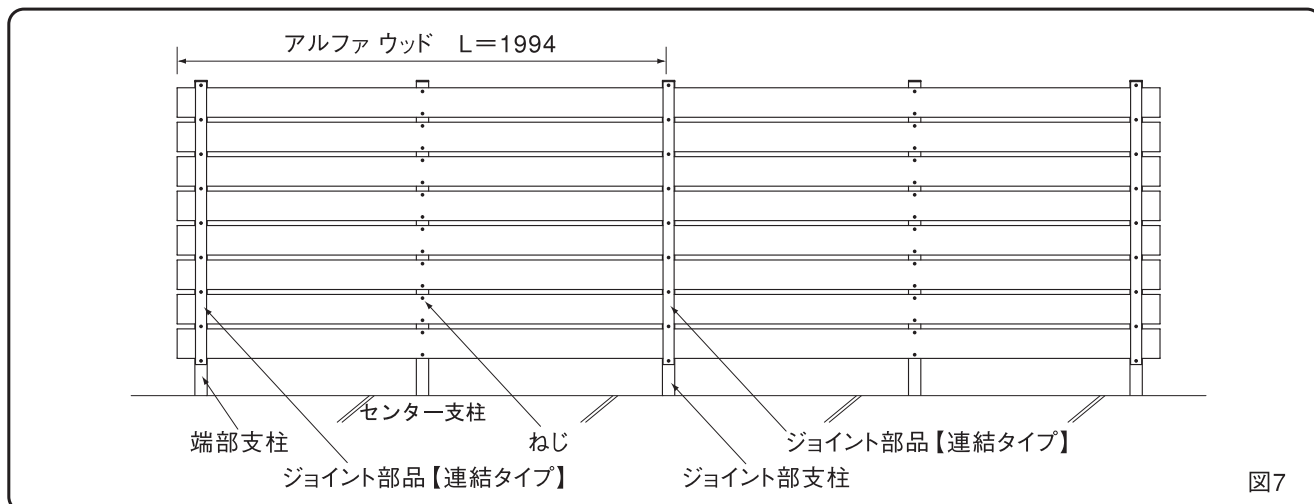


図7

②ジョイント部品【単独タイプ】を、端部とジョイント部のみに使用する場合 → [p6 をご覧ください](#)

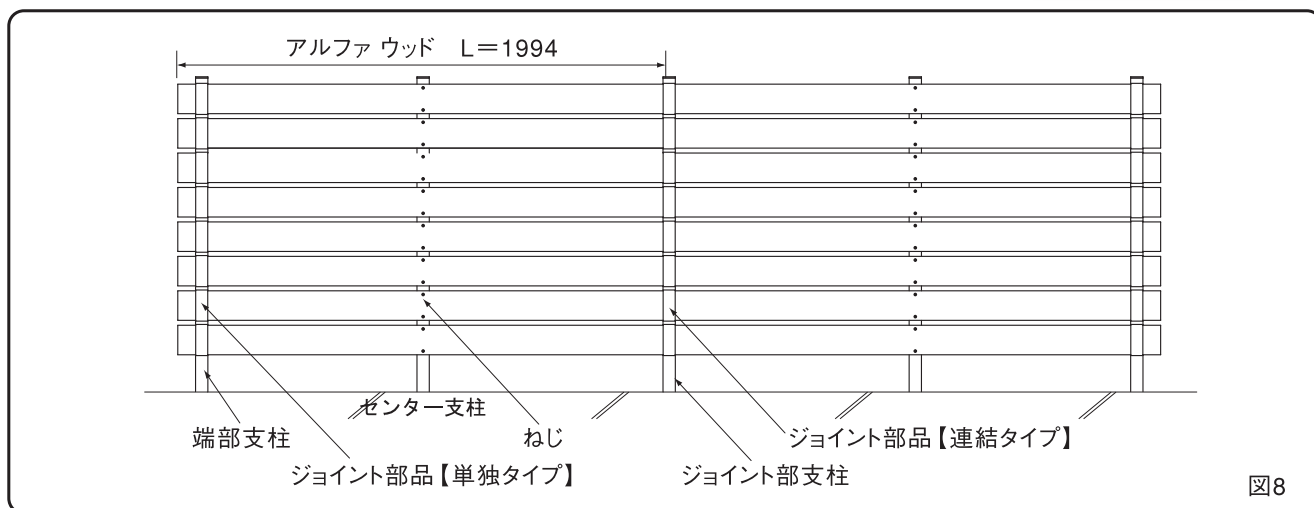


図8

③ジョイント部品【単独タイプ】を、全ての支柱に使用する場合 → [p8 をご覧ください](#)

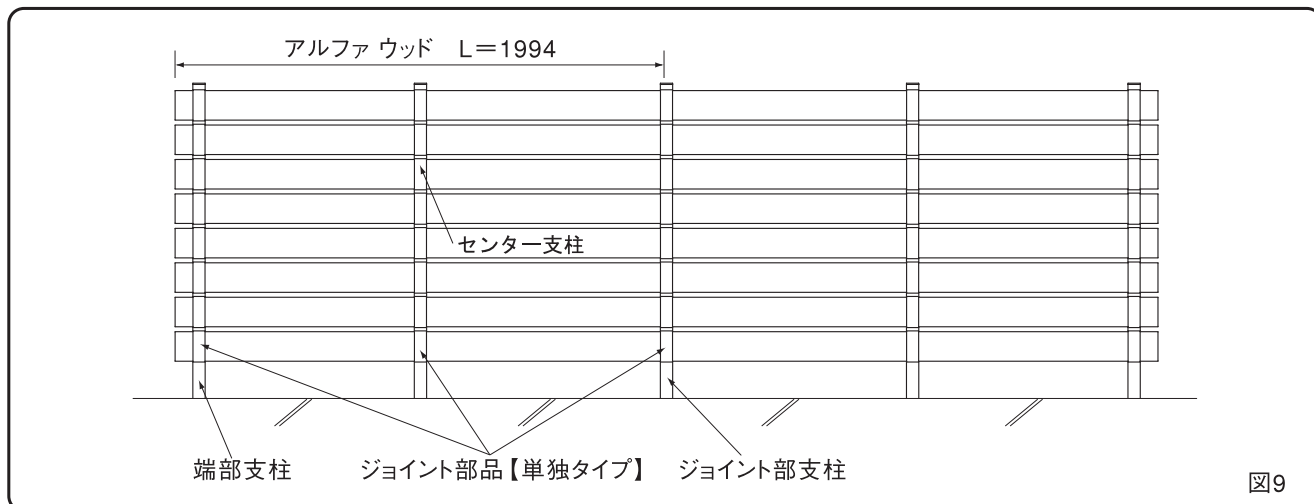


図9

## 4 ジョイント部品 連結タイプ を使用する場合の施工方法

### 1 汎用アルミ型材支柱を建て、十分に基礎の養生を行います。

このとき、一般部の支柱ピッチは必ず1,000mmを守ってください。なお寸法調整部のピッチは1,000mm以下としてください。(図10参照)

### 2 下図に従って、アルファ ウッドの組立てを行います。(図10参照)

- ① ジョイント部品を取付ける支柱に、最上段のスペーサーを全数貼付けます(両面テープの剥離紙をはがして貼付けてください)。
- ② 最上段のアルファ ウッドの位置決めをし、センター支柱に対し2本のねじで固定します。  
その際、予めアルファ ウッドに $\phi 5.5$ の下穴をあけてください。
- ③ 最上段のアルファ ウッドを全て取付けます。なお、隣り合うアルファ ウッドの隙間は必ず6mmあけてください。(詳細A参照)
- ④ 2段目の全てのスペーサーをジョイント部品を取付ける支柱に貼付けます。
- ⑤ 以下同様の手順で下段に向けて最後までスペーサーとアルファ ウッドを順次取付けて行きます。
- ⑥ ジョイント部品連結タイプを必要な長さにカットします。
- ⑦ ジョイント部品連結タイプを位置決めし、スペーサーの位置でねじ止めします。その際必ずジョイント部品とスペーサーに $\phi 5.5$ の下穴をあけてからねじ固定を行ってください。  
(ねじは、ドリルねじを採用しています。アルミ支柱に対する下穴加工は不要です。)

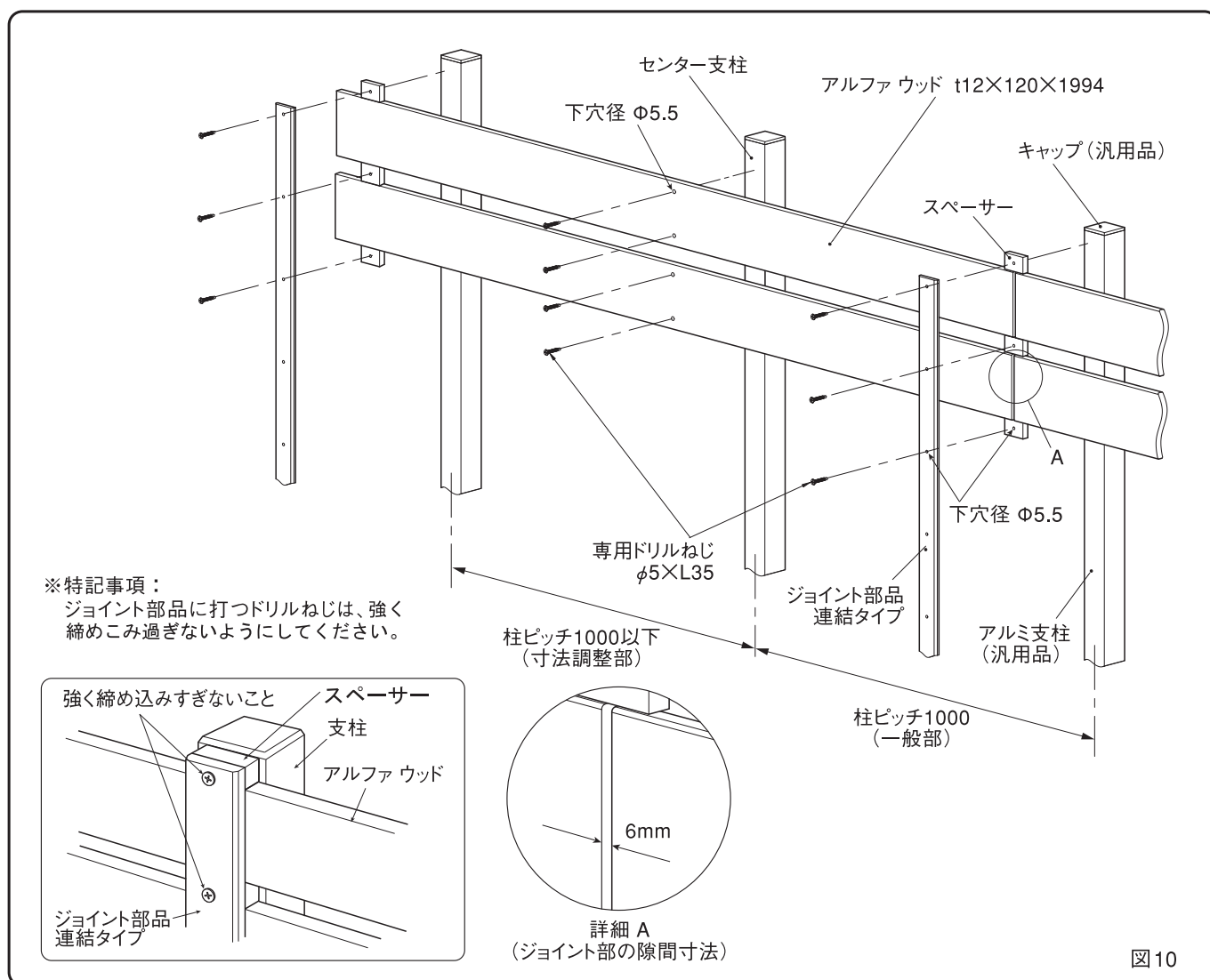


図10

# 5

## ジョイント部品 単独タイプ を使用する場合の施工方法

### 端部及びジョイント部支柱のみに、ジョイント部品を使用する場合

#### 1 汎用アルミ型材支柱を建て、十分に基礎の養生を行います。

このとき、一般部の支柱ピッチは必ず1,000mmを守ってください。なお寸法調整部のピッチは1,000mm以下としてください。(図11参照)

#### 2 下記の手順に従ってアルファウOODの組立てを行います。

① アルファウOODのジョイント部・端部にあたる支柱に、SUS部品を2本の専用ドリルねじで固定します。

(図11参照)

**注意** SUS部品同士の最小間隔は7mm以上を確保してください。

(SUS部品同士の間隔に4mmを加えた寸法が、アルファウOOD同士の隙間になります。SUS部品同士の間隔を8mm取った場合は、アルファウOOD同士の隙間は12mmとなります)

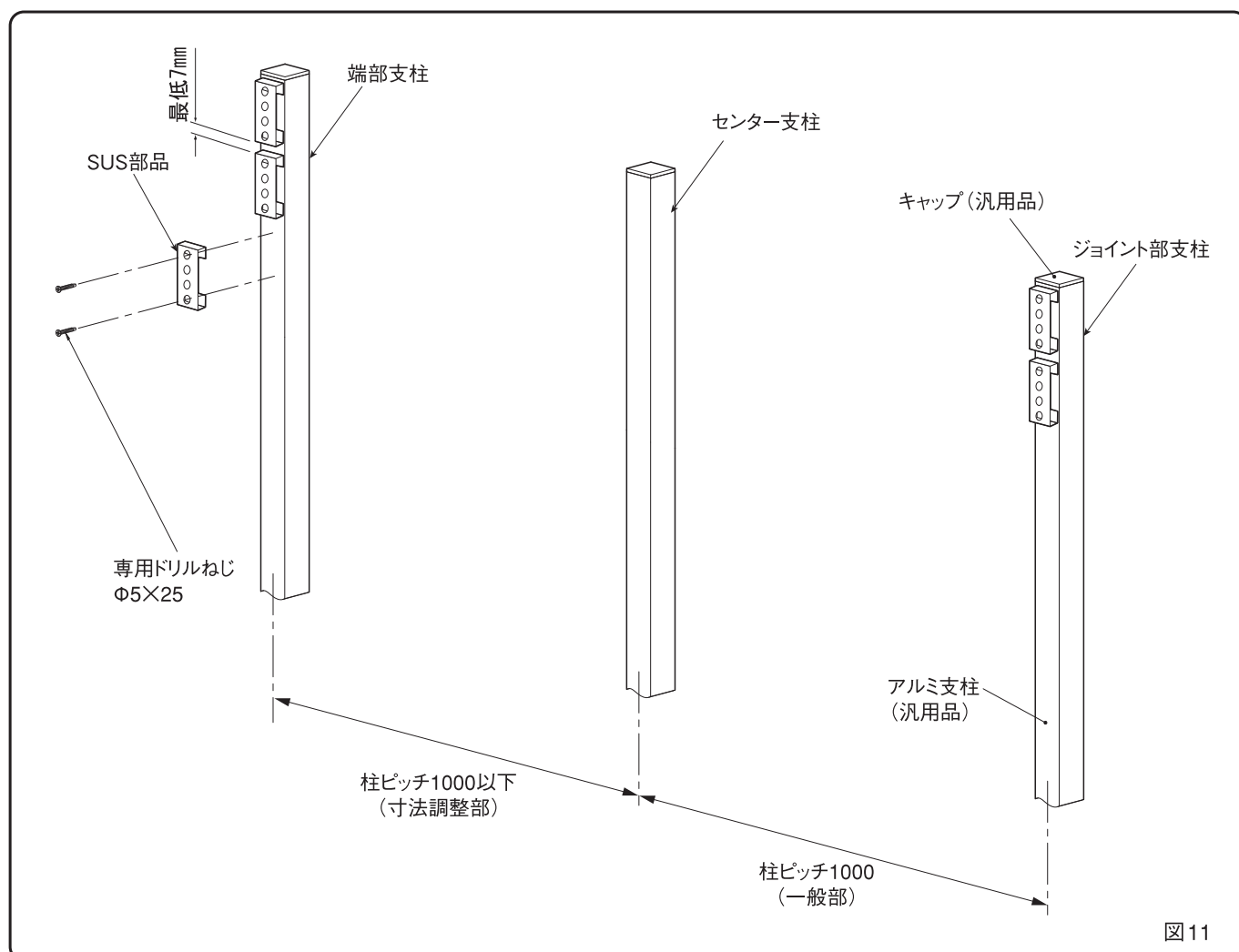


図11

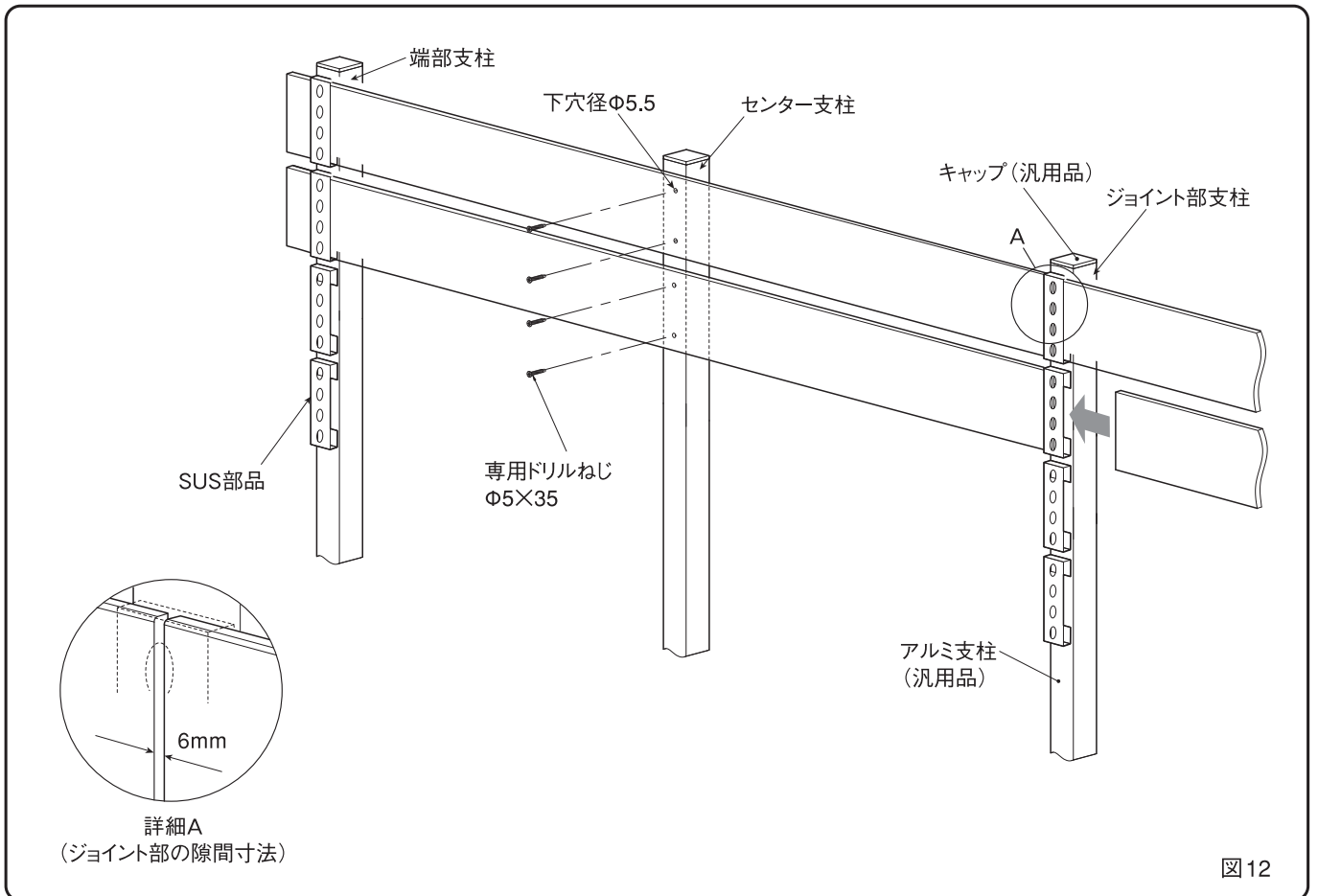
② アルファウOODの両端をSUS部品に差込み、左右片寄りが無いように位置調整を行いません。

(図12参照)

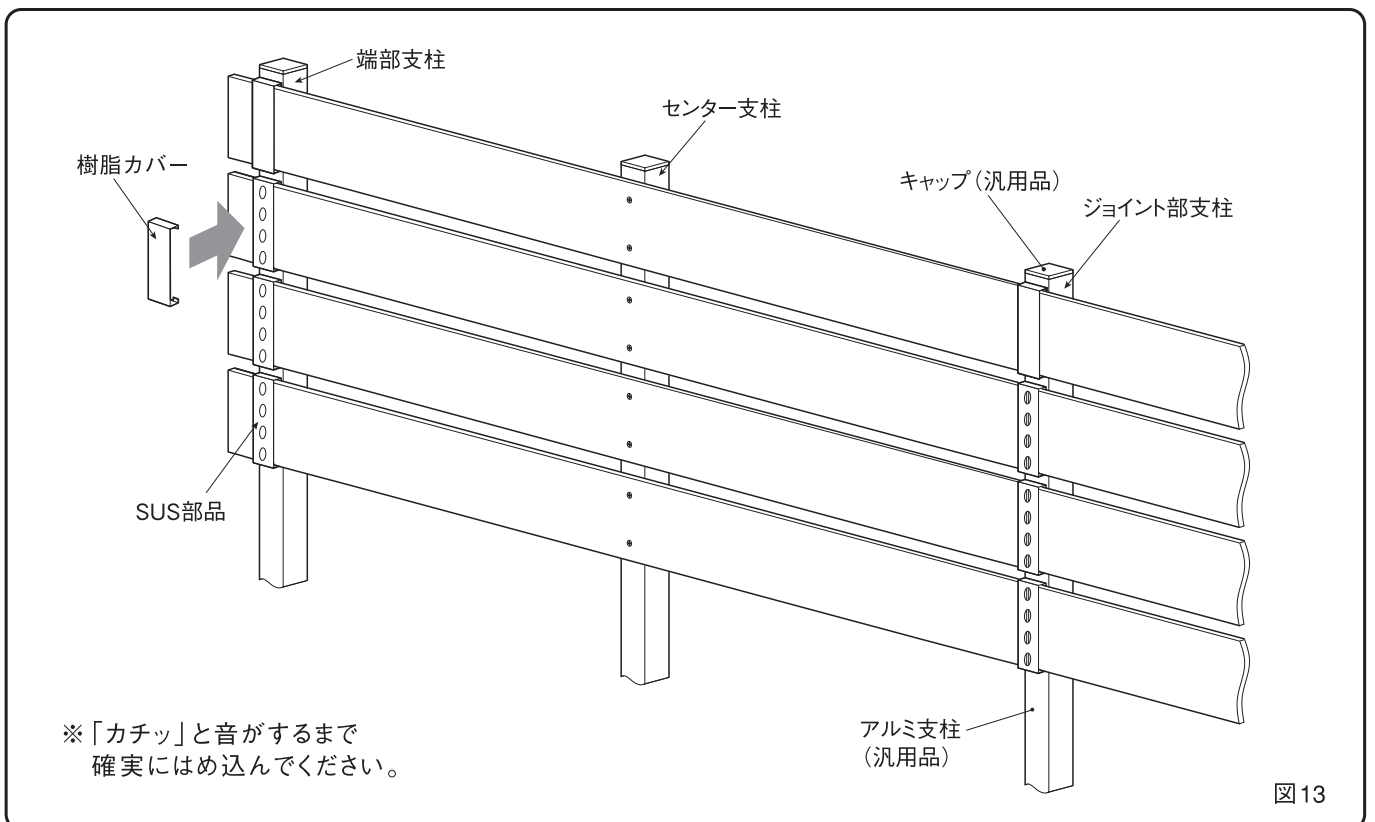
③ センター支柱に対し2本のねじでアルファウOODを固定します。その際、予めアルファウOODにΦ5.5の下穴をあけてください。

(ドリルねじを採用していますので、アルミ支柱への下穴は不要です) (図12参照)

- ④ 以下同様の手順で全てのアルファウッドを取付けます。その際、隣り合うアルファウッドの隙間は必ず6mmあけてください。(図12参照)



- ⑤ 最後に、SUS部品に樹脂カバーを取付けます。(図13参照)



## すべての支柱にジョイント部品を使用する場合 ①

### 1 汎用アルミ形材支柱を建て、十分に基礎の養生を行います。

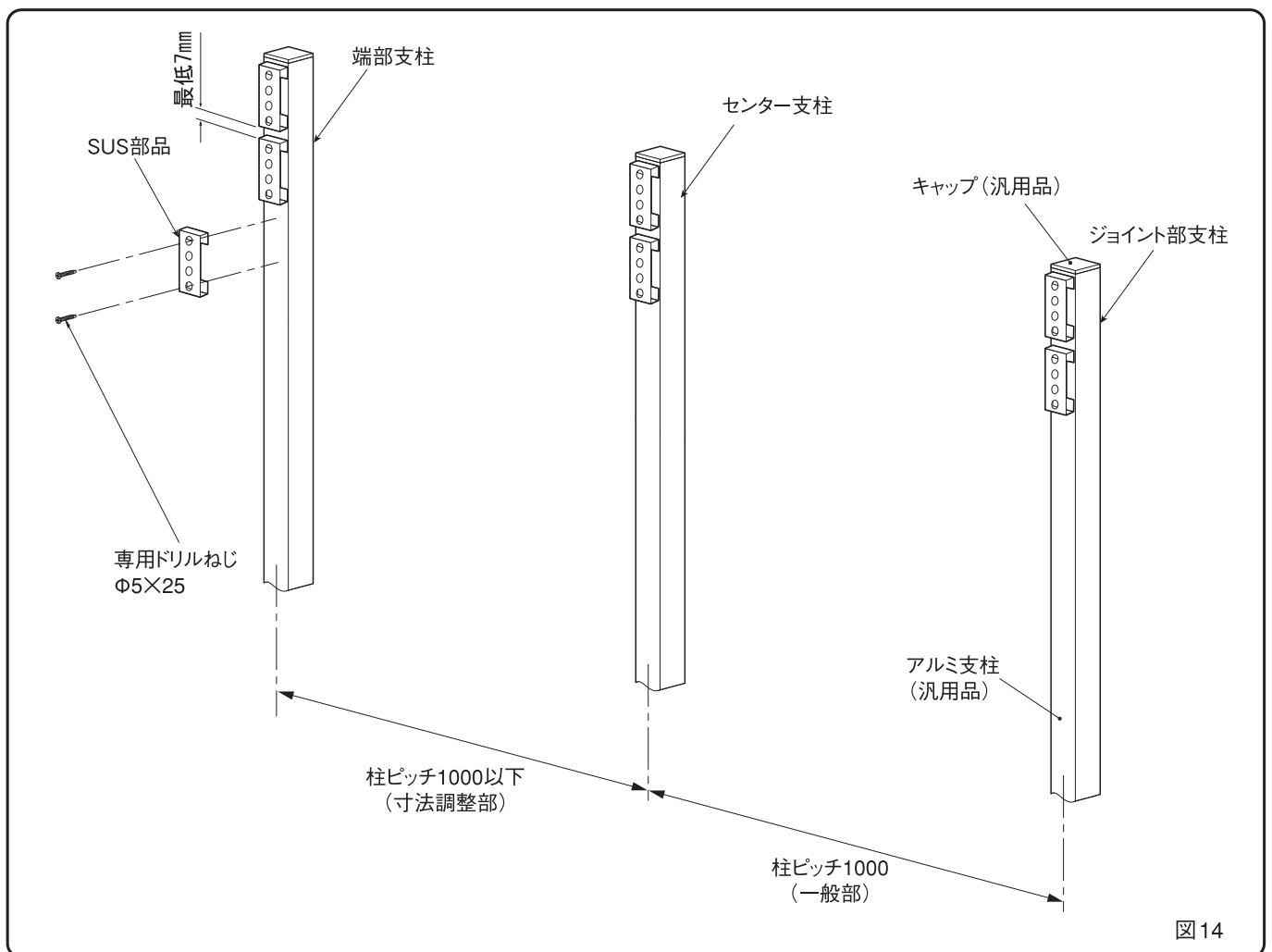
このとき、一般部の支柱ピッチは必ず1,000mmを守ってください。なお寸法調整部のピッチは1,000mm以下としてください。(図14参照)

### 2 下記の手順に従ってアルファウッズの組立てを行います。

①すべての支柱に対して、SUS部品を2本の専用ドリルねじで固定します。(図14参照)

**注意** SUS部品同士の最小間隔は7mm以上を確保してください。

(SUS部品同士の間隔に4mmを加えた寸法が、アルファウッド同士の隙間になります。SUS部品同士の間隔を8mm取った場合は、アルファウッド同士の隙間は12mmとなります)



②アルファウッズをSUS部品にスライドさせて差込み、左右片寄りがないように位置調整を行ないます。(図15参照)

(現場スペースの都合で、アルファウッドがスライド挿入できない場合は、P10の「スライド挿入ができない場合の施工方法」を参照ください。)

③センター支柱に対し図15の位置でアルファウッズを固定します。その際、予めアルファウッドにΦ5.5の下穴をあけるとともにねじ頭が飛び出さない為の座グリを設けます。(ドリルねじを採用していますので、アルミ支柱への下穴は不要です)(図15参照)



- ④ 以下同様の手順で全てのアルファウードを取付けます。その際、隣り合うアルファウードの隙間は必ず6mmあけてください。(図15参照)

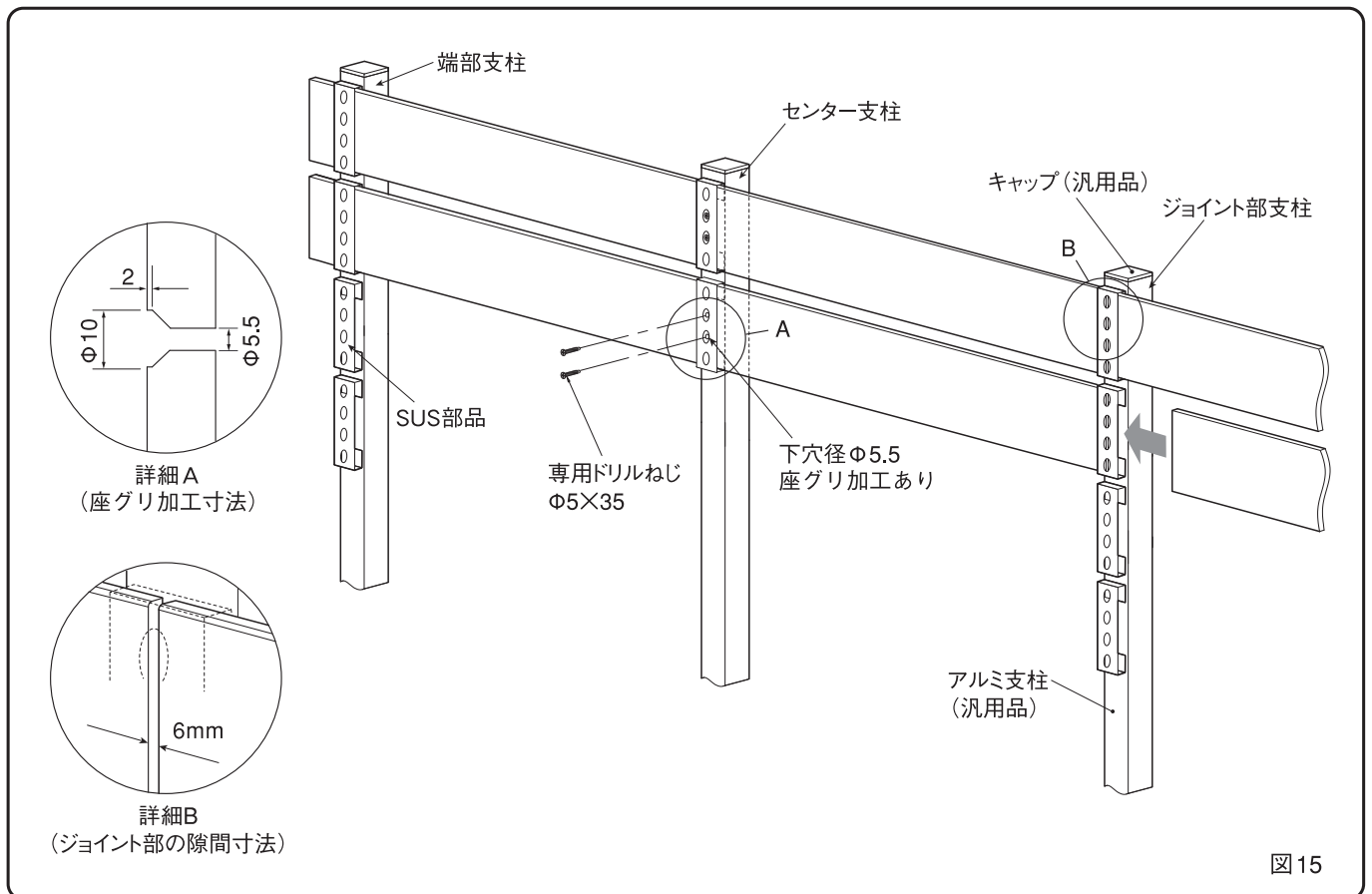


図15

- ⑤ 最後に、SUS部品に樹脂カバーを取付けます。(図16参照)

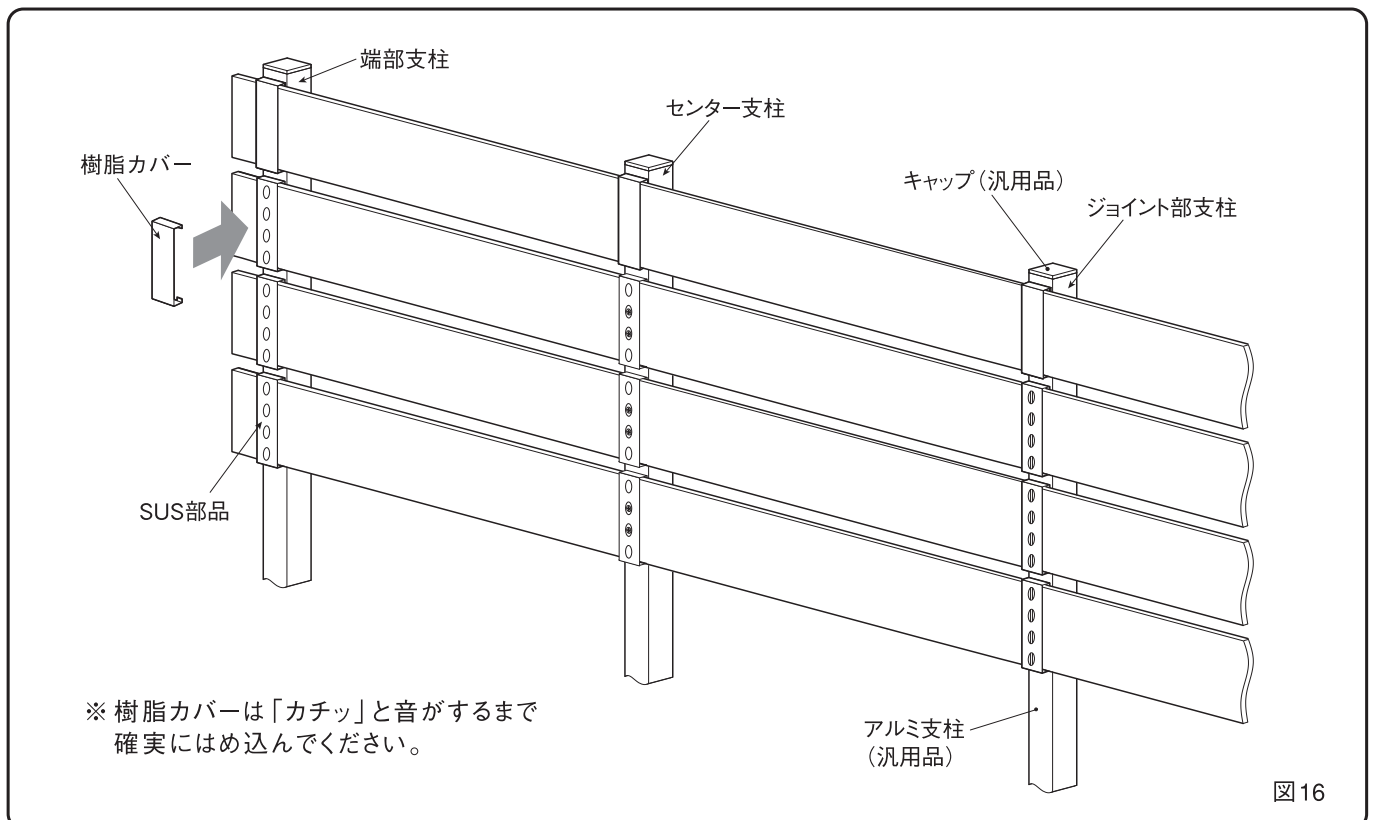


図16

すべての支柱にジョイント部品を使用する場合 ②

【※現場スペースの都合で、アルファウッドがスライド挿入できない場合の施工方法】

1 汎用アルミ型材支柱を建て、十分に基礎の養生を行います。

このとき、一般部の支柱ピッチは必ず1,000mmを守ってください。なお寸法調整部のピッチは1,000mm以下としてください。(図17参照)

2 下記の手順に従ってアルファウッドの組立てを行います。

① アルファウッドのジョイント部・端部にあたる支柱に、SUS部品を2本の専用ドリルねじで固定します。

**注意** SUS部品同士の最小間隔は7mm以上を確保してください。

② 取付けるアルファウッドに予めセンター支柱用のSUS部品を通しておきます。(図17参照)

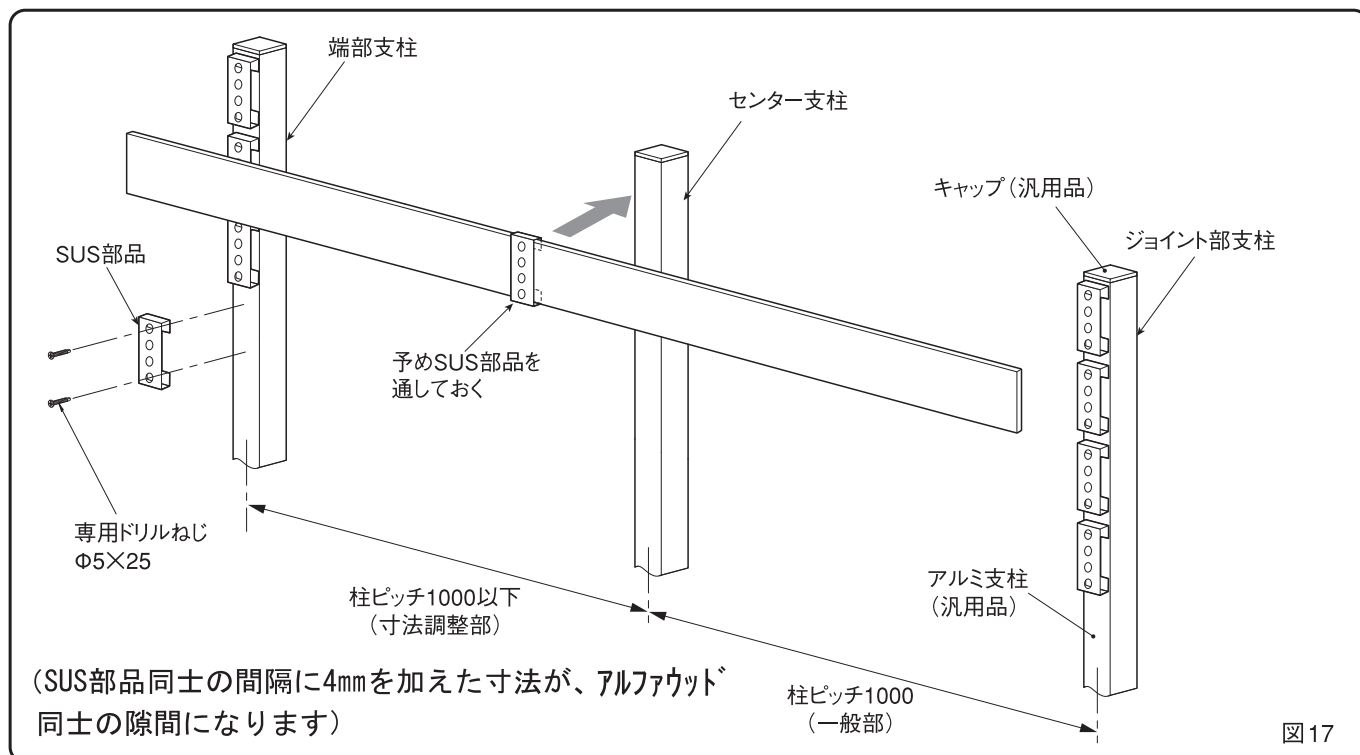


図17

③ アルファウッドの両端をSUS部品に差込み、左右片寄りが無いように位置調整を行いません。

④ SUS部品をセンター支柱の位置に合わせ、下図に従い外側の穴のセンターにケガキを入れます。(図18)

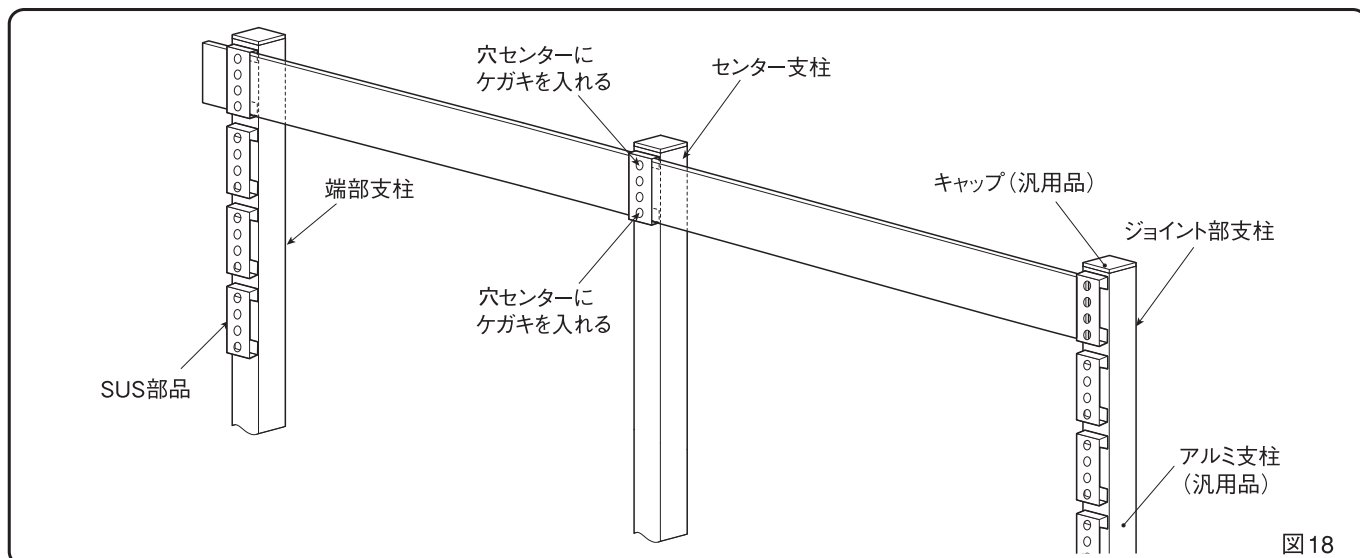
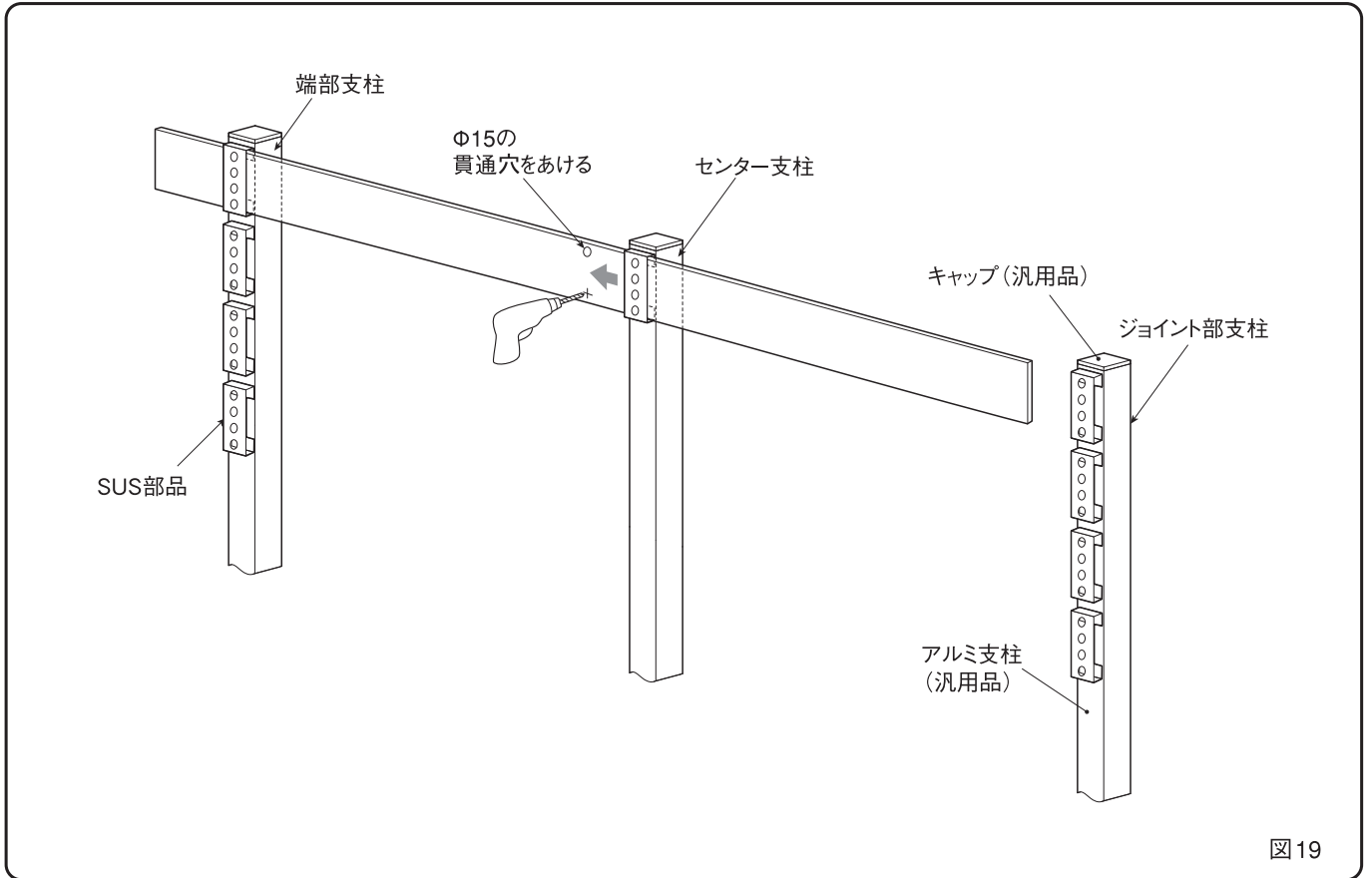


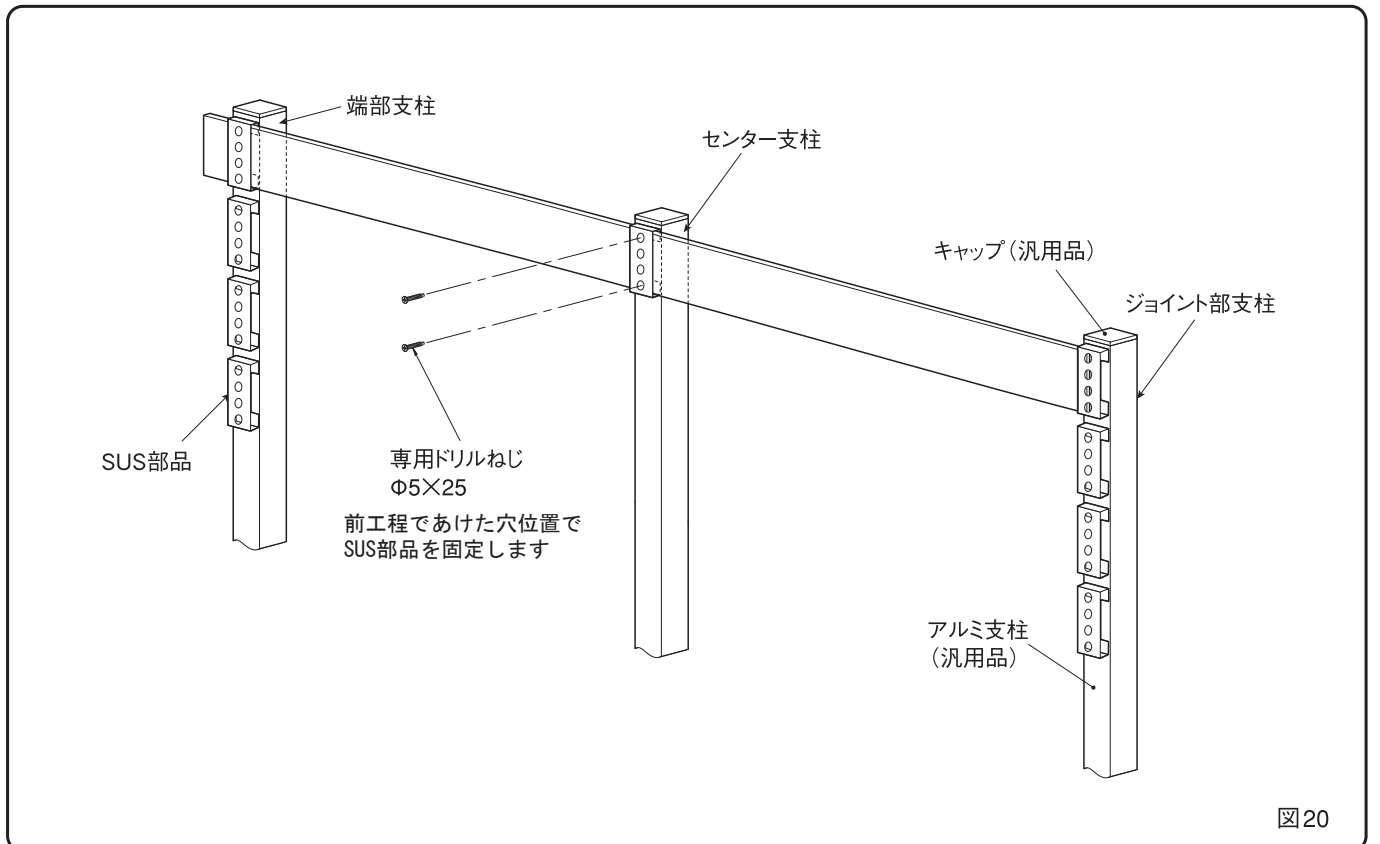
図18

⑤ アルファウッドをずらして、ケガキ箇所にてΦ15程度の貫通穴をあけます。(図19参照)



⑥ アルファウッドを正規の位置に戻し、前工程で空けた穴の位置でSUS部品を支柱に固定します。

(図20参照)



- ⑦ センター支柱に対し下図の位置でアルファウッドを固定します。その際、予めアルファウッドにΦ5.5の下穴をあけるとともにねじ頭が飛び出さない為の座グリを設けておきます。(ドリルねじを採用していますので、アルミ支柱への下穴は不要です) (図21参照)
- ⑧ 以下同様の手順で全てのアルファウッドを取付けます。その際、隣り合うアルファウッドの隙間は必ず6mmあけてください。(図21参照)

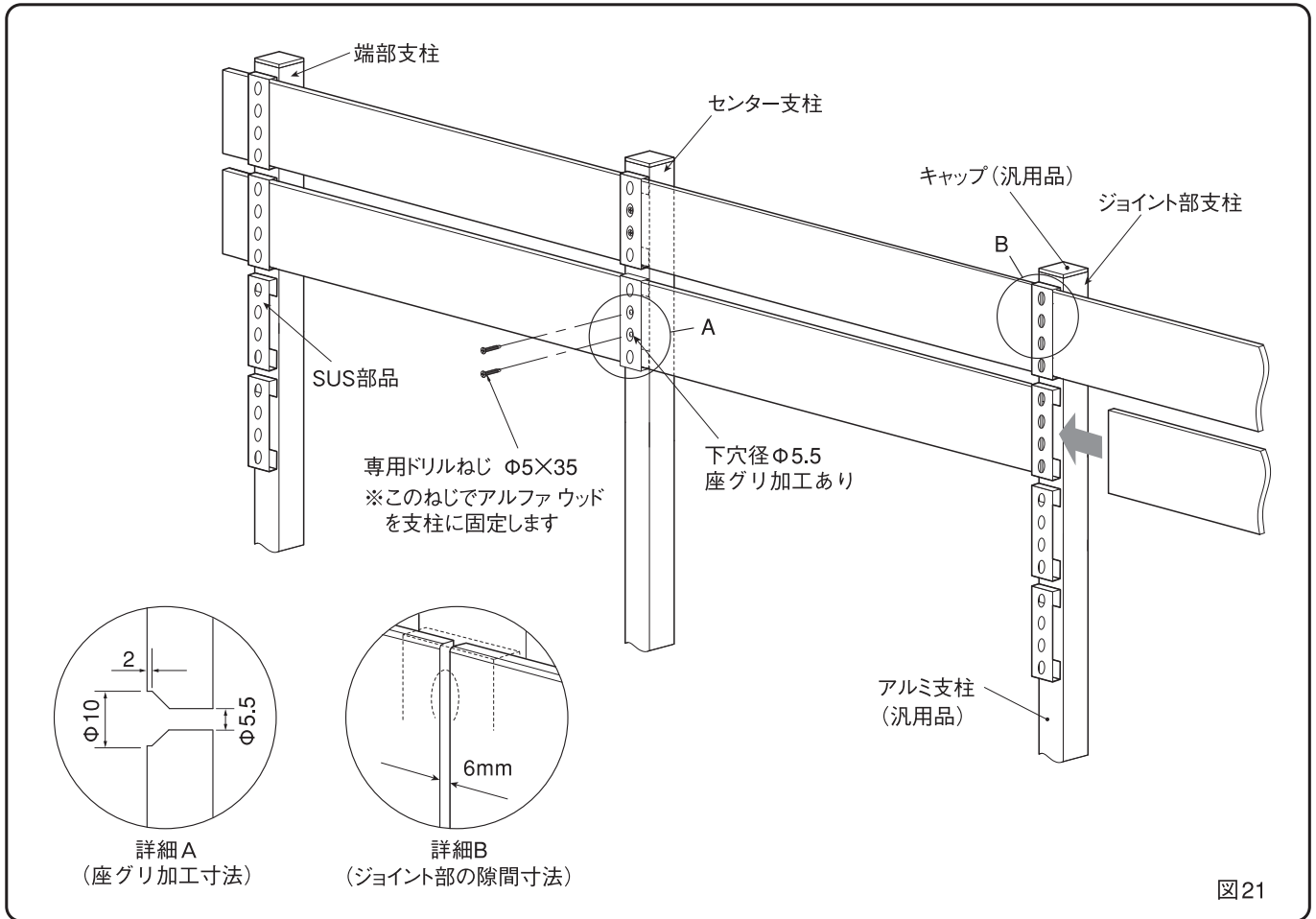


図21

- ⑨ 最後に、SUS部品に樹脂カバーを取付けます。(カチッと音がするまで確実にはめ込んでください) (図16参照)

## 工事店様へ

- 改造、変更はしないでください。
- 組立て終了後、ねじ類の締め具合を確認してください。
- 組立て終了後、組立説明書、取扱説明書は御施主様にお渡しください。

## 御施主様へ

- 普段のお手入れは濡らした布でお拭きください。
- 汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めて使用し、洗剤が残らないように拭き取ってください。
- シンナー、ベンジン等の溶剤のご使用は、絶対にお止めください。塗装に影響が出る恐れがあります。
- 廃棄する場合は地方自治体の定める方法で処理してください。
- 法定の焼却設備で焼却すれば、ダイオキシンなどの環境汚染物は発生しません。  
小型焼却炉などでの自家焼却処理は避けてください。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45  
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190  
ディーズガーデン 株式会社 傳來工房

DSF-IM3  
2010.10A